



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601S		
科目名	基礎ゼミ		
担当教員	山添 謙		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 3		
講義室	1211	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K[表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連 E1学識と専門技能 20% F1探求と論拠 20% H1論理的思考 20% H2批判的思考 20% I1理解・分析と読解 10% K1ライティングコミュニケーション 10%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理の研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するのに必要なスキルと知識を統合的に学ぶために、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学系科目、又は、専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ若しくは情報セキュリティに属する危機管理学科目を担当する教員が「個別クラス」を担当し、教員の研究領域の特性に即して研究手法等を指導します。3年次以降のゼミナールにおける、より専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。ゼミナールでのより専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本演習では、危機管理上の諸問題の背景や原因の特定からはじめて、その解決に向けた研究計画の立案、集団的な研究の遂行や、その成果のプレゼンテーションによる表現までを一通り行うことを目標にします。本科目では、人間－環境系の概念に基づき、危機管理の対象となる人間社会が展開する空間において、様々な事象に潜む課題を発見するための着眼点、課題を共有するためのプレゼンテーションとその表現を身につけることを目標とします。「エヴィデンスベース」、「実証的研究」について共に考えます。"		

	授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 危機管理学、プレゼンテーション、ディスカッション。ゼミナールへの橋渡し						
授業の趣旨	■副題 危機管理学的探究の基礎～社会課題の認識と表現 ■授業の目的 人間－環境系において、人間がどのような環境要素とかが関わっているのかをまず考えます。そして人間社会とそれを取り巻く環境において、どのような「問題」があるのか、それはどのようなデータによってとらえられ、それはどのように表現できるのかを検討します。「探究」において、基礎となる「課題発見とその認識」、課題を広く共有するための適切な「表現方法」について、時間・空間スケールと危機管理学の枠組みの中で考えます。 ■授業のポイント この授業では、「探究」において、基礎となる「課題発見とその認識」、課題を広く共有するための適切な「表現方法」について、時間・空間スケールと危機管理学の枠組みの中で考えます。グローバル化した社会において、ローカル～グローバルの異なる空間スケールにおける諸現象の相互作用を基本的視座とします。						
総合到達目標	■一般目標（GIO） 人間－環境系の概念に基づいて人間社会を理解し、社会課題理的に適切な方法で遂行し、そのデータを適切に処理して統計的に解析し、的確なレポートを作成できる。 ■個別行動目標（SBOs） ・人間社会を「人間－環境系」の概念に基づいて理解し、人間と環境との間に横たわる問題を発見し、その内容を説明できる。（第1～15回） ・社会に関する統計をExcelを用いて適切に処理し、課題を共有できるよう適切に表現できる。（第5～8回） ・危機管理学研究の成果である論文の精読を通して、危機管理学に求められる研究課題を見出すことができる。（第5、9、13、15回）						
成績評価方法	■データのグラフ化を含む個人レポート1回（30%）：適用ルーブリック E1・F1・H1・H2・I1・K2 （評価の観点）データに基づいた実証的な論証ができていないか、図表が適切に作成されているかなどを評価します。 （フィードバック方法）授業内で個別にフィードバックします。 ■授業参加度（50%）：適用ルーブリック E1・F1・H1 （評価の観点）卒業論文の作成に必要な技法等について、毎回の授業の最後に定着度を振り返りが適切にできているかを評価します。 （フィードバック方法）授業内でフィードバックします。 ■グループ発表の振り返り3回（20%）：適用ルーブリック E1・I1・K2 （評価の観点）グループ発表に対して個人のかかわりについて振り返りができているかを評価します。 （フィードバック方法）授業内でフィードバックします。						
履修条件	とくにありません。						
履修上の注意点	グループ活動に積極的に関わることが大切です。無断欠席は厳禁です。						
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス(本授業における目的の共有、授業の進め方と成績評価の説明) ②授業概要 授業の目的についての説明を聞き、テーマ内容、スケジュール、成績評価について確認した後、自己紹介し、グループ分けをすることで、コミュニケーションに重要な言葉選びができるようになる(K2)。 ③予習（120分） 本科目のシラバスを精読し、理解できていないことがあれば質問をできるようにしておく。 ④復習（120分） 「探究」とは何か、辞書で調べ、自らのこれまでの探究活動について振り返る。 </td></tr><tr><td>2</td><td> ①授業テーマ 3つのグループワークとその詳細 ②概要 ニュース解説の紹介、統計に基づく図表作成、論文紹介についてその内容と技法について理解し、グループワークの計画を立てることができる（E1,F1,K2） ③予習（120分） NHK解説委員室のコンテンツの内容を閲覧し、注目した記事についてまとめる。 </td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(本授業における目的の共有、授業の進め方と成績評価の説明) ②授業概要 授業の目的についての説明を聞き、テーマ内容、スケジュール、成績評価について確認した後、自己紹介し、グループ分けをすることで、コミュニケーションに重要な言葉選びができるようになる(K2)。 ③予習（120分） 本科目のシラバスを精読し、理解できていないことがあれば質問をできるようにしておく。 ④復習（120分） 「探究」とは何か、辞書で調べ、自らのこれまでの探究活動について振り返る。	2	①授業テーマ 3つのグループワークとその詳細 ②概要 ニュース解説の紹介、統計に基づく図表作成、論文紹介についてその内容と技法について理解し、グループワークの計画を立てることができる（E1,F1,K2） ③予習（120分） NHK解説委員室のコンテンツの内容を閲覧し、注目した記事についてまとめる。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス(本授業における目的の共有、授業の進め方と成績評価の説明) ②授業概要 授業の目的についての説明を聞き、テーマ内容、スケジュール、成績評価について確認した後、自己紹介し、グループ分けをすることで、コミュニケーションに重要な言葉選びができるようになる(K2)。 ③予習（120分） 本科目のシラバスを精読し、理解できていないことがあれば質問をできるようにしておく。 ④復習（120分） 「探究」とは何か、辞書で調べ、自らのこれまでの探究活動について振り返る。						
2	①授業テーマ 3つのグループワークとその詳細 ②概要 ニュース解説の紹介、統計に基づく図表作成、論文紹介についてその内容と技法について理解し、グループワークの計画を立てることができる（E1,F1,K2） ③予習（120分） NHK解説委員室のコンテンツの内容を閲覧し、注目した記事についてまとめる。						

	④復習（120分） グループごとに連絡網を作成し、発表準備の方法を整える。
3	①授業テーマ ニュース解説の要約発表と質疑① ②概要 ニュース解説記事の要約の方法について理解し、その内容についてまとめることができる。他者の発表について、危機管理学的観点から議論に参加できる。（E1,K2） ③予習（120分） 発表の準備をする（発表者）。ニュース解説記事を精読する（質問者）。 ④復習（120分） 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
4	①授業テーマ ニュース解説の要約発表と質疑② ②概要 ニュース解説記事の要約の方法について理解し、その内容についてまとめることができる。他者の発表について、危機管理学的観点から議論に参加できる。（E1,K2） ③予習（120分） 発表の準備をする（発表者）。ニュース解説記事を精読する（質問者）。 ④復習（120分） 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
5	①授業テーマ ニュース解説の要約発表と質疑③ ②概要 ニュース解説記事の要約の方法について理解し、その内容についてまとめることができる。他者の発表について、危機管理学的観点から議論に参加できる。（E1,K2） ③予習（120分） 発表の準備をする（発表者）。ニュース解説記事を精読する（質問者）。 ④復習（120分） 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
6	①授業テーマ データの特性と図表の作成の錬成 ②概要 社会に関するデータの取得方法とその特性について理解し、図や表を作成する際の留意点について説明できる（E1,F1,K2） ③予習（120分） 日本の47都道府県に関するデータを読み込む。 ④復習（120分） 興味を持ったデータについて、図または表を作成する。
7	①授業テーマ データの特性と図表について発表① ②概要 グループで作成した図または表について、作成方法とその内容についての発表を聴き、その手法について説明できる（E1,K2） ③予習（120分） 発表予定のデータについてその特性を考察する。 ④復習（120分） 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
8	①授業テーマ データの特性と図表について発表② ②概要 グループで作成した図または表について、作成方法とその内容についての発表を聴き、その手法について説明できる（E1,K2） ③予習（120分） 発表予定のデータについてその特性を考察する。 ④復習（120分） 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
9	①授業テーマ データの特性と図表について発表③ ②概要 グループで作成した図または表について、作成方法とその内容についての発表を聴

	き、その手法について説明できる (E1,K2) ③予習 (120分) 発表予定のデータについてその特性を考察する。 ④復習 (120分) 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
10	①授業テーマ 危機管理学の研究論文を読む ②概要 危機管理学に関する研究論文の検索方法と、その内容の要約方法についての説明を聞き、要約の発表の方法について説明できる (E1,F1,K2) ③予習 (120分) Ciniiの使用法について、自主創造の基礎の資料を振り返る ④復習 (120分) Ciniiを用いて論文を検索し、発表する論文を選ぶ。
11	①授業テーマ 研究論文発表① ②概要 グループで作成した発表資料に基づき、研究論文のようなく発表を聞いて、危機管理学的議論に参加できる。(E1,K2) ③予習 (120分) 発表予定の論文を精読する ④復習 (120分) 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
12	①授業テーマ 研究論文発表② ②概要 グループで作成した発表資料に基づき、研究論文のようなく発表を聞いて、危機管理学的議論に参加できる。(E1,K2) ③予習 (120分) 発表予定の論文を精読する ④復習 (120分) 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
13	①授業テーマ 研究論文発表③ ②概要 グループで作成した発表資料に基づき、研究論文のようなく発表を聞いて、危機管理学的議論に参加できる。(E1,K2) ③予習 (120分) 発表予定の論文を精読する ④復習 (120分) 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
14	①授業テーマ 危機管理学的探究活動に関するディスカッション ②概要 危機管理学的探究活動に関する議論に参加し、その特徴について考えを述べることができる (E1,F1,H1,H2,I1,K2) ③予習 (120分) 危機管理学的探究活動について、自分の意見をまとめる。 ④復習 (120分) 卒業論文に必要なスキルのうち、どのようなスキルが身についたのかを振り返る。
15	①授業テーマ 総括 ②授業内容 基礎ゼミの内容を振り返り、卒業論文に必要なスキル獲得の進捗状況について自己評価ができる (C1、K2) ③予習 (120分) 提出されたレポートのフィードバックを振り返り、改善点についてのコメントを準備する。 ④復習 (120分) ゼミナールへの課題を整理し、夏季休暇中の計画を作成する。

関連科目	「自主創造の基礎」(RMGT 1218)、「アカデミック・スキルズ」(RMGT1219)
教科書	■特に指定しません。
参考書・参考URL	■授業中に指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 授業時にお知らせします。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント30%：パブリックセキュリティ20%：グローバルセキュリティ30%：情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 法学10%：危機管理学90%

